部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	山崎 春男	電話	459-7804
-----	------	-----	-----	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3795	事務事業名称	装備整備事業				短縮コード	経常	3795	臨時	3371	
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費
区分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等	消防組織法(昭和22年法律第226号)、緊急消防援助隊運用要綱(平成16年3月26日付け消防震第19号)								

事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

平成7年に発生した阪神淡路大震災を契機に緊急消防援助隊が発足し、当消防本部は、平成14年度に登録してあることから、支援資機材を整備することによって、県内外で発生する地震等の大規模災害に対して、被災市町村の属する知事からの要請に基づいて速やかに出動できる体制を図ることを目的とする。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測	総合計画の施策体系	5本の柱(章)	03	安全・環境共生都市をめざして	
平成16年4月の緊急消防援助隊の法制化以降「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」においても国、都道府県、市町村の連携による地域ブロック合同訓練の定期的な実施を求められている。		大項目(節)	01	市民の安全	
		中項目	02	消防	
		小項目(施策)	02	消防体制の充実	
		細項目	02	消防車両等の整備	
		実施計画の計画事業			
計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	平成18年4月 ~ 平成19年3月	計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	緊急消防援助隊
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 千葉県消防広域応援隊合同訓練に参加した。 ※平成19年度に計画していること: (1)千葉県消防広域応援隊合同訓練に参加。 (2)市総合防災訓練に援助隊支援資機材の使用。
意図 (何を狙っているのか)	国内における地震等の大規模災害の発生に際し、被災地の消防の応援のため速やかに被災地に赴き人命救助活動を行なへよう支援資機材を整備する。
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外

区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	緊急消防援助隊登録数	隊	3	3	3	3
	指標2	緊急消防援助隊登録人員	人	15	15	15	15
	指標3						
活動指標	指標1	緊急消防援助隊活動数(訓練含む)	回数		2	4	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	緊急消防援助隊支援資機材整備	比率		100	100	
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3795	事務事業名称	装備整備事業		所属名	警防課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	7,900	7,900	0	0
		一般財源	千円	65	65	7,161	7,161
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳				緊急消防援助隊支援資機材一式	緊急消防援助隊支援資機材一式		
人件費(B)		千円	0	4,759.6	2,782.8	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	12,724.6	9,943.8	0	0

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☐ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☒ 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☐ 達成していない ☒ 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある ☐ 可能性はない ☒ 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☐ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☒ 評価対象外事項	「法定受託事務」のため評価対象外			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある ☐ 効率性向上の可能性はある ☐ 両方可能性はある ☒ 可能性がない	緊急消防援助隊用支援資器材の整備に係る単年度事業のため、今後の可能性はない。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☐ IT化等業務プロセスの見直し		2		
		☐ 受益者負担の見直し				
☐ 類似事業との統合・役割見直し				実施主体(所管部署)		
☐ 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある ☐ ない					

コード	3795	事務事業名称	装備整備事業			所属名	警防課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			緊急消防援助隊用支援資器材の整備に係る単年度事業であるため、今後、休止とする。																					
			☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td>☒</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	☐	☐	☐	不変	☒	☐	☐	低下	☐	☐	☐	単年度事業であり、緊急消防援助隊用支援資器材は整備された。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	☐	☐	☐																							
	不変	☒	☐	☐																							
	低下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
平成18年度千葉県消防広域応援隊合同訓練に参加するにあたって、支援資器材等の整備が図れた。	

所属長コメント	緊急消防援助隊の支援資器材等が整備され、さらに合同訓練等を踏まえ、出動要請に対し迅速に被災地に出動できる体制が整えられた。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 現状のまま継続	担当課の評価のとおりとする。